

収蔵作品展

ねこさがし

いぬさがし

2025.

3.29^土

▼
5.18^日

【休館日】月曜日

(ただし5/5(月)・6(火)は開館、5/7(水)は休館)

【開館時間】

10:00—18:00(入館は17:30まで)

【会場】

佐倉市立美術館2階展示室

【観覧料】無料

【主催】佐倉市立美術館



春日部たすく《猫の天国》1957年



【アクセス】

【電車】

○京成佐倉駅南口より徒歩8分、または、「JR佐倉駅」方面行きバスで「佐倉市立美術館」下車すぐ。

○JR佐倉駅北口より徒歩20分、または、「京成佐倉駅」方面行きバスで「二番町」下車すぐ。

【車】

東関東自動車道佐倉I.C.より約5km・15分、「夢咲くら館」駐車場をご利用ください。(台数に限りがあるため、なるべく公共交通機関をご利用ください。)

佐倉市立美術館!...CC'

〒285-0023 千葉県佐倉市新町210番地 TEL:043-485-7851

URL: <https://www.city.sakura.lg.jp/section/museum/>

イラスト:©shimizu2025



浅井忠《元禄美人図》1904年

収蔵作品展 **ねこさがし**

い

ぬこさがし

2025.
3.29(土) ▶ 5.18(日)

毎年、開催されている春のイベント「桜に染まるまち、佐倉」。今年のメインビジュアルは、絵本『かくれねこ』などが人気のshimizuさんのイラストが使われています。そこで当館でも猫と犬というモチーフに注目した展覧会を開催します。

ペットとして、さらに最近では大切な家族の一員として、わたしたちの最も身近な動物である猫と犬は、古くから造形作品のモチーフともされてきました。

そんな猫と犬を、当館の収蔵作品の中を探してみると、まずは佐倉ゆかりの画家・浅井忠が、日本画や図案、挿絵等に猫や犬を描いています。また、猫のモチーフで知られる水彩画の春日部たすく、犬についての著書もある池田満寿夫の版画など、昭和の作品にも登場しています。さらに佐倉市内でみられるイベントポスターや、広報キャラクターなどにも広げ、猫や犬のビジュアルイメージをさぐっていきます。



吉屋敬《朝》1988年



伊藤彬《緑の岸边》1979年

会期中のイベント

●ミュージアム・コンサート

- 2025年4月20日(日)
金子さくら(コントラバス)・坂井裕子(ピアノ)
 - 2025年5月18日(日)
池淵まゆみ(ヴィオラ)・坂井裕子(ピアノ)
- [時間] 各日14:00-
[会場] 1階ロビー [参加費等] 申込不要・無料
[協力] 佐倉楽友協会
※出演者は変更となる場合があります。

●当館学芸員によるギャラリートーク

- 2025年4月19日(土) [時間] 14:00-
- [会場] 2階展示室 [参加費等] 申込不要・無料

これからの
展覧会

こうの史代展
2025.8.2(土) - 10.2(木)

佐倉市立美術館!...

イラスト: ©shimizu2025

